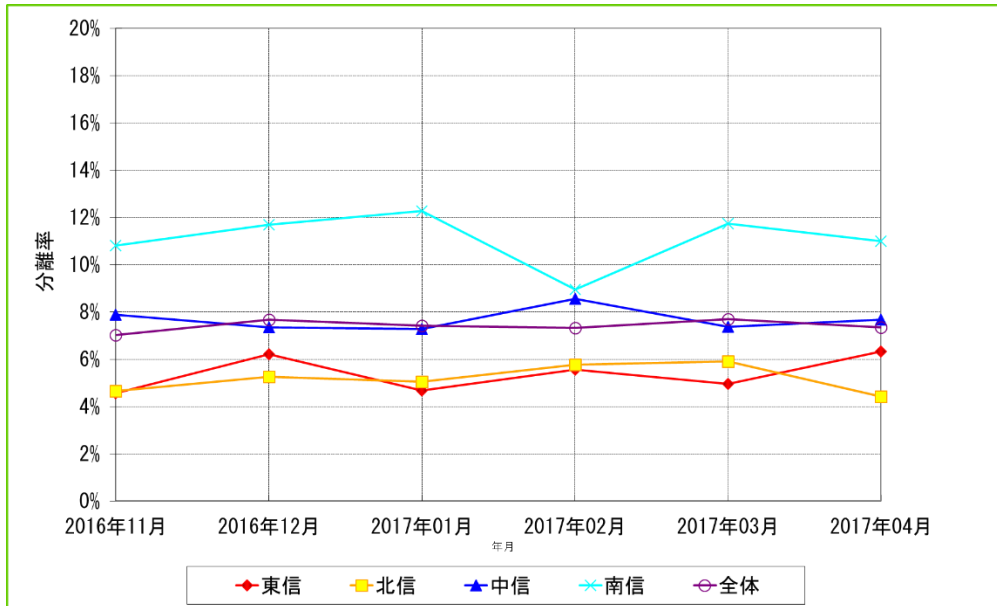


長野県各地区の耐性菌分離率

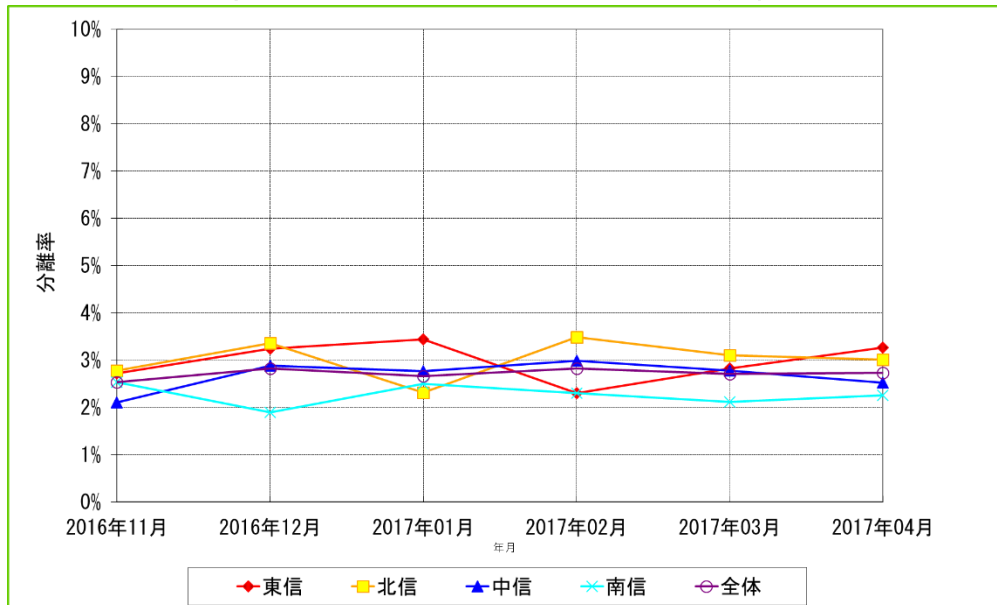
- 対象期間 : 2016年11月～2017年4月の6ヶ月間
- データ集計日 : 2017年5月25日
- 集計対象施設数 : 56施設

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)



	2016年11月			2016年12月			2017年1月			2017年2月			2017年3月			2017年4月		
	検体総数	分離数	分離率	検体総数	分離数	分離率	検体総数	分離数	分離率	検体総数	分離数	分離率	検体総数	分離数	分離率	検体総数	分離数	分離率
東信 計	1031	47	4.56%	1049	65	6.20%	1048	49	4.68%	952	53	5.57%	989	49	4.95%	918	58	6.32%
北信 計	1871	87	4.65%	1726	91	5.27%	1982	100	5.05%	1574	91	5.78%	1645	97	5.90%	1559	69	4.43%
中信 計	1420	112	7.89%	1455	107	7.35%	1445	105	7.27%	1403	120	8.55%	1438	106	7.37%	1422	109	7.67%
南信 計	1537	166	10.80%	1523	178	11.69%	1597	196	12.27%	1473	132	8.96%	1508	177	11.74%	1374	151	10.99%
全体 計	5859	412	7.03%	5753	441	7.67%	6072	450	7.41%	5402	396	7.33%	5580	429	7.69%	5273	387	7.34%

第3世代セファロスポリン耐性大腸菌



	2016年11月			2016年12月			2017年1月			2017年2月			2017年3月			2017年4月		
	検体総数	分離数	分離率	検体総数	分離数	分離率	検体総数	分離数	分離率	検体総数	分離数	分離率	検体総数	分離数	分離率	検体総数	分離数	分離率
東信 計	1031	28	2.72%	1049	34	3.24%	1048	36	3.44%	952	22	2.31%	989	28	2.83%	918	30	3.27%
北信 計	1871	52	2.78%	1726	58	3.36%	1982	46	2.32%	1574	55	3.49%	1645	51	3.10%	1559	47	3.01%
中信 計	1420	30	2.11%	1455	42	2.89%	1445	40	2.77%	1403	42	2.99%	1438	40	2.78%	1422	36	2.53%
南信 計	1537	39	2.54%	1523	29	1.90%	1597	40	2.50%	1473	34	2.31%	1508	32	2.12%	1374	31	2.26%
全体 計	5859	149	2.54%	5753	163	2.83%	6072	162	2.67%	5402	153	2.83%	5580	151	2.71%	5273	144	2.73%

長野県各地区の耐性菌分離率

- 対象期間 : 2016年11月～2017年4月の6ヶ月間
- データ集計日 : 2017年5月25日
- 集計対象施設数 : 56施設

多剤耐性緑膿菌(MDRP)

	2016年11月			2016年12月			2017年1月			2017年2月			2017年3月			2017年4月		
	検体総数	分離数	分離率	検体総数	分離数	分離率	検体総数	分離数	分離率	検体総数	分離数	分離率	検体総数	分離数	分離率	検体総数	分離数	分離率
東信 計	1031	0	0.00%	1049	0	0.00%	1048	0	0.00%	952	0	0.00%	989	0	0.00%	918	0	0.00%
北信 計	1871	0	0.00%	1726	0	0.00%	1982	0	0.00%	1574	0	0.00%	1645	1	0.06%	1559	1	0.06%
中信 計	1420	0	0.00%	1455	0	0.00%	1445	0	0.00%	1403	0	0.00%	1438	0	0.00%	1422	0	0.00%
南信 計	1537	2	0.13%	1523	1	0.07%	1597	0	0.00%	1473	0	0.00%	1508	0	0.00%	1374	0	0.00%
全体 計	5859	2	0.03%	5753	1	0.02%	6072	0	0.00%	5402	0	0.00%	5580	1	0.02%	5273	1	0.02%

抽出条件・統計処理

- ・対象期間の入院患者を対象とする。
- ・重複処理は患者IDが同じ場合1件とカウントする。
- ・耐性菌の分離率＝[(菌分離患者数)÷(検体提出患者数)]×100(%)
- ・過去月分の分離データは集計日以降に送信されたデータも含む。
(過去のレポートデータと異なることがあります、ご了承ください。)

信州インфекションコントロールサーベイランスシステム(SICSS) 耐性菌判定基準

菌名	概要	微量液体希釈法	ディスク拡散法
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)	MPIPCが“R”の <i>Staphylococcus aureus</i> (またはCFXがディスク拡散法で“R”)、又は選択培地でMRSAと確認された菌	MPIPC ≧ 4μg/mL	MPIPC ≦ 10mm CFX ≦ 21mm
多剤耐性緑膿菌(MDRP)	下記条件をすべて満たす <i>Pseudomonas aeruginosa</i> ・カルバペネム系が“R” ・アミカシンが“I”か“R” ・フルオロキノロン系が“R”(LVFX、CPFXのいずれか)	IPM・MEPM ≧ 8μg/mL AMK ≧ 32μg/mL LVFX ≧ 8μg/mL CPFX ≧ 4μg/mL	IPM、MEPM ≦ 15mm AMK ≦ 16mm LVFX ≦ 13mm CPFX ≦ 15mm
第3世代セファロスポリン耐性大腸菌	CTX、CTRX、CFPMのいずれかが“I”か“R”、又はCAZが“R”の <i>Escherichia coli</i>	CTX ≧ 2μg/mL CTRX ≧ 2μg/mL CFPM ≧ 16μg/mL CAZ ≧ 16μg/mL	CTX ≦ 25mm CTRX ≦ 22mm CFPM ≦ 17mm CAZ ≦ 17mm